

⑤ 産業科施設、設備

高等学校に別科として設置する機械・電気等の学科のうち昭和1年度に新設された学科について、農業機械の整備技術者を養成するため次のとおり配分整備した。

相馬農業高等学校	農業機械科		
設備費	3,000,000円		
施設費	5,075,000円	S 248㎡	

(2) 農業科教員の研修

静岡県養豚試験場	2人	13日間
北海道酪農学院大学	1人	16日間
国立農林省園芸試験場	3人	13日間
福島県農事試験場	1人	12日間

2 農業教育近代化促進費

農業の最大課題である農業後継者の育成をはかるため、次のとおり体質改善のため施設・設備を充実した。県単独事業として対象学校教員を研究機関に派遣し農業教育の刷新強化につとめた。

(1) 施設・設備の充実

東白川農高等学校	農林科(園芸)体質改善3年次		
小高農業高等学校	畜産科体質改善3年次		
施設費計	4,388,000円	S 99㎡	W 132㎡ 計231㎡
設備費計	2,550,000円		

3 自営者養成農業高等学校拡充整備費

国においては、農業後継者の養成確保をはかるため、自営者養成農業高等学校拡充整備計画をたて各県1校指定し実施しているところであるが、本県においても国の方針に添え長期総合教育計画を樹立し次のとおり自営者養成農業高校を指定し、配分整備した。

福島農蚕高等学校	寄宿舎	R 2,948㎡
施設費	118,480,000円	

4 中学校産業教育設備の充実

中学校産業教育設備については、昭和38年度において中学校技術、家庭科充実参考例が改訂され、昭和41年度においてその第4次分として次のとおり整備された。

充実状況 学校規模別	40年度末実実				41年度充 実				41年度末充実(推定)	
	学校数	基準金額	充実金額	充実率	学校数	基準金額	充実金額	充実率	充実金額	充実率
5学級以下	59	75,827	25,348	33.4	6	900	900	100	26,248	34.6
6～7学級	206	53,070	274,040	49.5	35	10,500	10,500	100	284,540	51.4
8学級以上	67	201,643	127,925	63.4	12	5,400	5,400	100	133,325	66.1
計	332	830,540	427,313	51.4	63	16,800	16,800	100	414,113	53.4

5 普通科等家庭科教育設備の充実

公立高等学校の普通科および商業に関する学科における家庭科教育のための実験実習の設備について、1校当たり300,000円 計 3,705,000円を次のとおり配分整備した。

普通科	商業科
飯坂高等学校	只見高等学校
川俣高等学校	湯本高等学校
梁川高等学校	相馬高等学校
安達高等学校	
石川高等学校	
田村高等学校	
	平商業高等学校
	若松商業高等学校
	喜多方商業高等学校
	郡山商業高等学校

6 定時制教育設備の充実

本県における勤労青少年の教育諸条件の改善を図るための一環として、県勢振興計画に基づき定時制高校の理科および一般教科教育のための設備の現有を45年度までに改訂基準の40%に引上げるため、第1年次分として定時制教育および通信教育振興法に基づく国庫補助により次のとおり整備充実をした。

(1) 理科教育設備の充実状況

単位千円

規模別学校数 区 分	独 立 校						併 置 校						
	I (2校)		II (5校)		計		I (3校)		II (3校)		計		
	金額	充実率	金額	充実率	金額	充実率	金額	充実率	金額	充実率	金額	充実率	
基準総額(A)	126,935	—	32,468	—	159,403	—	17,309	—	19,481	—	36,790	—	
40年度末充実金額(B)	31,188	24.5	8,976	27.6	40,164	25.1	909	5.2	459	2.4	1,368	3.7	
41年度補助	国庫補助金	1,532	—	250	—	1,782	—	—	—	—	—	—	
対象整備	設置者負担額	1,532	—	250	—	1,782	—	—	—	—	—	—	
金額(C)	計	(11) 3,064	2.4	(1) 500	1.6	(12) 3,564	2.3	—	—	—	—	—	
41年度末充実金額A/(B+C)		34,252	26.9	9,476	29.2	43,728	27.4	909	5.2	459	2.4	1,368	3.7

() は配分学校数を示す。